

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立津谷小学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
 住所 〒988-0308  
宮城県気仙沼市本吉町津谷松岡126番地  
 E-mail : tsuya-sho@kesennuma.ed.jp  
 Website : なし  
 児童生徒数：男子 120名 女子 113名 合計 233名  
 児童・生徒の年齢 6歳～ 12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容



(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

学年	学年テーマ 「主な単元」	主な活動，ねらい，成果
1・2	<p>進んでふれ合い，感じ合い，思いをつなぐ 「さつまいもをそだててみよう」</p>	<p>身近な人との出会い，かかわり合いを重視した幼・保・小の交流活動や高齢者との交流の中で，進んでふれ合い，感じ合い，思いをつなごうとする心情と態度を養った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>サツマイモの苗植え</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>モロヘイヤスープ作り</p> </div> </div>
3	<p>すてき津谷の町・人 「発見！すてきな町・人」</p>	<p>津谷の町の地域について調べる活動を通して，地域への関心を高め，自分なりの課題を持って調べることができるようになった。それらの活動を通して，津谷の町や住む人への関心を高め，地域の人々とかかわりながら町や人に親しみ，誇りを持つことができるようになった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>折り紙つくり体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>押し花つくり体験</p> </div> </div>
4	<p>やさしさの輪を広げよう 「私たちのエコプラン」</p>	<p>身の回りの自然や環境についての関心を高め，自分の課題をもって調べることができるようになった。学区を流れる津谷川を題材として地域の自然と環境のかかわりについて学習し，自然や環境に関心を高め，地域や人々と深くかかわりながら地球に優しい環境作りに進んで取り組む児童へと育った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>津谷川水生生物調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プールへのEM発酵液投入</p> </div> </div>
5	<p>さぐろう！本吉の産業 「さぐる</p>	<p>稲作や大豆を育てる活動を通して，生産活動の大変さを体験し，生産者の苦労や工夫を学ぶ。地域の方や地元JAの職員の方に指導をお願いし，地域とつながりながら学習を進め，自分たちが生まれ育った町の産業や，それに携わる人への関心を高め，郷土を愛する</p>



	<p>う！大豆・米の秘密」</p>	<p>心を育んだ。</p>  <p>大豆栽培</p>
<p>6</p>	<p>ぼくたちの提案！ 本吉プラン 「町弁を作ろう」</p>	<p>津谷地区の特産品を生かした弁当を作るために必要なことを調べて発表し、自分たちが生まれ育った町の産業やそれに携わる人への関心を高め、郷土を愛する心を育み、地域の一員としての自覚を高めた。ふるさとのありがたさと自然の豊かさを再認識させ、自分たちができる最大限の復興への取組と結び付けた。</p>  <p>味噌づくり</p>
<p>緑化委員会の活動</p>		<p>学校及び学校近辺を飾る花壇の花の手入れ作業</p> 